

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
14. 肥薩線(吉松～隼人)の平均通過人員	JR九州が公表する前年度実績値(N-1)	493人	△28.74%	JR九州が公表した2022年度の平均通過人員493人(2023年度分は9月ごろ公開予定)。令和2年7月の豪雨災害により全線開通しておらず、その影響も出ている。
		605人	↑	
15. 日豊本線(都城～国分)の平均通過人員	JR九州が公表する前年度実績値(N-1)	1,068人	42.58%	JR九州が公表した2022年度の平均通過人員1,068人(2023年度分は9月ごろ公開予定)。霧島神宮の国宝指定により観光客などの利用が増えたため。
		1,389人	↑	
16. ふれあいバスの1便当たりの利用者数	ふれあいバス利用者数/運行便数(N-1)	3.0人	23.08%	コロナ禍による外出規制の緩和による利用者の増、及び令和4年度に乗車率の低いふれあいバス運行路線(2路線)をデマンド交通への転換を行なったことにより改善した。
		4人	↑	
17. 市街地循環バス・観光バスの1便当たりの利用者数	循環・観光バス利用者数/運行便数(N-1)	4.4人	53.85%	コロナ禍による外出規制の緩和による利用者の増、及び令和5年度から利用状況を勘案し減便を行なったことにより改善した。
		5人	↑	
18. 日常生活で移動に不便を感じている市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		35%	↓	

施策としての改善方針
航空や鉄道等は県や関係機関等と連携し、広域で利用促進に向けた取り組みを実施する。 多様化する地域住民の移動ニーズに的確に対応し、持続可能な地域公共交通を確保するために、きりしまMワゴンの本格運行と路線バス・コミュニティバスの効果的な見直しを行う。

施策幹事課	関係課
企画部地域政策課	建設部土木課 / 建設部都市計画課